

インタビュー

4つのサービスを軸に、 データセンタの グリーン化を実現

環境に配慮したIT化、グリーンITが求められている。特にIT需要の急拡大に伴うデータセンタの省エネルギー対策は、喫緊の課題だ。このような中、NTTデータは最先端のIT技術とファシリティ技術を駆使しITリソースの高効率化と省電力化を促進するトータルサービス「グリーンデータセンタ」を提供している。データセンタのグリーン化に向けた最近の取組み状況を、年清昭彦データセンタビジネスユニット長にうかがった。



(株)NTTデータ
ビジネスソリューション事業本部
データセンタビジネスユニット長
年清 昭彦氏

省エネ化・高機能化・ユーティリティ コンピューティング化の3つの流れ、

—はじめに、市場環境を含めデータセンタビジネスを取り巻く最近の状況からお聞かせください。

年清 データセンタを取り巻く現在の環境には、大きく3つの流れがあると捉えています。一番は、エネルギー問題への対応、すなわち省エネ化です。環境への配慮に加え、サーバと周辺機器が消費する電力と冷却に必要な電力を合計した電力コストは増加の一途をたどっており、これをいかに削減するかが大きな課題となっています。次に、データセンタそのものをハイスpekク化する、データセンタの高機能化があげられます。最近では、米国の民間データセンタ評価機関“The Uptime Institute”標準における「Tier3」から、最高レベルの「Tier4」が求められるようになってきました。3つ目は、仮想化、ユーティリティコンピューティング化に代表されるIT基盤の新しい仕組みづくりです。

仮想化は、もちろん省エネにも関わってきますが、IT基盤を仮想化し、それをユーティリティコンピューティング化するという流れです。

—市場は過熱化する一方…。

年清 確かに需要も多く、国内のデータセンタの床面積は不足している状況にありますが、市場そのものは若干落ち着きを見せていると思います。また、データセンタ設備に関しては、最高レベルのTier4に対するニーズは確実にあります。しかし、そこまで求められるお客様はまだまだ少なく、高機能化を求めているもののTier3レベルまでのお客様が多

いですね。ただし、電力供給量不足や受電能力不足への対策は、データセンタ事業者がいろいろ工夫を凝らして行う必要に迫られています。

高効率化と省電力化を促進する 「グリーンデータセンタ」サービス

—そういった3つのトレンドを踏まえ、本年1月より「グリーンデータセンタ」サービスを提供されましたが、コンセプト及びサービスの全体像を



図1 「グリーンデータセンタ」のサービスメニュー

お聞かせください。

年清 冒頭お話しした3つの流れを踏まえ、私どものBUは昨年7月、社内のIT系人材とファシリティ系・建築系人材を融合した新組織として設立されました。そして12月に、データセンタの高効率化・省電力化を促進する新サービス「グリーンデータセンタ」の提供を開始しました。新サービスは大きく、お客様のデータセンタを構築する「設計構築サービス (C-feis)」と、NTTデータが用意するデータセンタをご利用いただく提供型サービスの2つに分かれており、提供型サービスはさらに「ハウジングサービス」と「iDCサービス」に加え、本年10月より提供開始する「共通IT基盤サービス」の3つのメニューを用意しています(図1)。データセンタの環境測定、評価、改善、管理を行い、仮想化等のIT技術、電力対策・熱対策のファシリティ技術を駆使して、データセンタのグリーン化を促進する4つのサービスメニューにより、お客様の課題を解決します。

—詳細は各論の頁でご紹介しますが、「共通IT基盤サービス」の概要をお聞かせください。

年清 データセンタに対するニーズは、サーバやストレージなどのITリソースのハウジングやコロケーションから、ホスティングさらには業務アプリケーションまで含めた企業の情報システム全体の運用を提供するフルアウトソーシングまで、お客様によって区々であり、すべてのニーズに対応できるサービスメニュー

新データセンタ1期分(約1,200m²)でCO₂換算年間約2,000トン削減を見込む
(東京ドーム21個分の森林保護につながる。) ※NTTデータの既存DCサービスと比べ、30%以上の削減効果

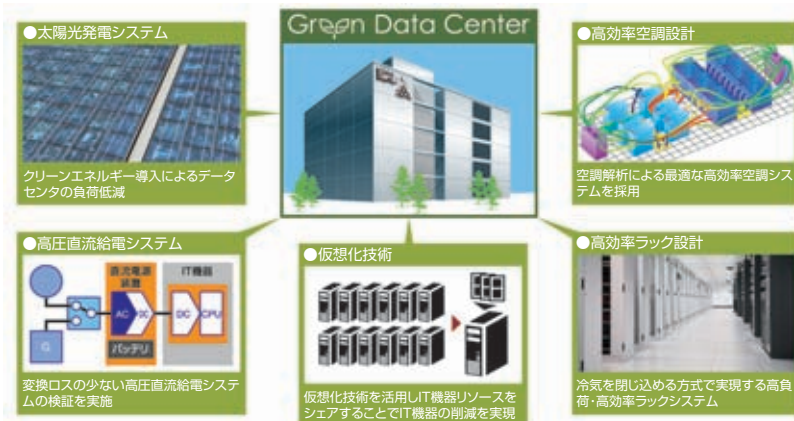


図2 「グリーンデータセンタ」によるCO₂削減効果

を用意しています。その中で「共通IT基盤サービス」は、ユーティリティコンピューティングを意識したお任せホスティングサービスで、10月に都内で運用を開始する新データセンタで提供します。

—「グリーンデータセンタ」サービスの提供にあたっての貴社ならではの強みは…。

年清 プリミティブなサービスからより上位のアプリケーション構築・提供まで含めトータルなサービスを提供できる点だと思います。

新データセンタをショーケース化し、今年度250億の売上を目指す

—新データセンタの概要をお聞かせください。

年清 本年10月より提供開始する新データセンタでは、サーバやストレージ等IT機器のリソースをシェアする仮想化技術に加え、太陽光発電システム、センタ内の通気の効率化や高効率空調システム、変換ロスの少ない高圧直流給電システムなど

データセンタにおける最新技術、さらには30年以上に及ぶ65万m²を超える自社データセンタの運用実績に基づく独自の設計構築ノウハウを活用したエコロジーなデータセンタです。第1期分(約1200m²)ではCO₂排出量を年間約2000トン削減することを見込んでいます(図2)。

—最後に、ビジネスの抱負をお聞かせください。

年清 私どものBUは、IT、ファシリティ、セキュリティの専門家集団で、約200名の社員で構成されています。データセンタのグリーン化に対するニーズは非常に高く、新データセンタを次世代データセンタのショーケースと位置づけ、各種パネルによる省エネの見える化など積極的なPR活動を展開していきたいと思っています。具体的な売上目標は、データセンタビジネスで、今年度240~250億円を目指しています。

—本日は有難うございました。

(聞き手・構成:編集長 河西義人)